



日本農業遺産認定
いさんにんてい
氷見の持続可能な
じそくかのう
定置網漁業

てい ち あみ もの
定置網漁業は
たから 宝物

氷見

ゆめパパ
ゆめのお父さん
大好きな氷見について話すと止まらない

ゆめ
氷見に住む小学生
魚の名前を覚える
のが得意

みらい
ゆめのいとこ
神奈川から遊びにきた
好きな食べ物は
かいせんどん
海鮮丼



じ そく か のう てい ち あみ
「氷見の持続可能な定置網漁業」は、
い さん
日本農業遺産。

氷見の定置網漁業は400年以上の歴史のある伝統的な漁業です。

先人たちから受けつぎ、海から人々の暮らしを支えてきた定置網漁業が、
深い関わりのある農業、林業、文化などの営みとともに、
令和3年2月に富山県で初めて日本農業遺産に認定されました。

「日本農業遺産」って、なに？

その地域ならではの方法で農林水産業を営み、
伝統や文化を大切に受けついでいる地域を
農林水産大臣が認定する制度。
令和5年3月現在で、24地域が認定されています。

知ろう。
守ろう。
伝えていこう。

氷見の魚はおいしい！ いろんな魚がたくさんとれる！

みんなにとっては「あたりまえ」かもしれません。

でも、どうしておいしいのか。どうしていろんな魚がとれるのか。

どうして毎日いつでも新鮮な魚が食べられるのか。

定置網漁業について学びながら、

日本農業遺産に選ばれた理由を考えてみましょう。

ゆめちゃん親子は神奈川
から遊びにきたみらいくん
と氷見沖クルージングに
でかけました。



かくとあみ
②角戸網

魚の「運動場」

網の入口はいつも開いているので出でいく魚もいます

ぐるぐる
まわって
楽しい～♪

定置網漁は、海に固定された網の中に魚の群れが入ってくるのを待つ漁法で、身網を水深27m以上に設置する大型定置網と、それより浅い場所に設置する小型定置網があります。

よひこ
氷見市立博物館へ

えへん
ちち?
あたえ

まずは
定置網漁～！

海底近くの魚や回遊する魚をさてじょんだり
いろんな工夫がされていろいろして
学校でも習ったよ

漁師さんたちって
頭がいいんだなあ
魚もたくさん
とれそうだね

こっちに行って
みようかな

なんぞーー！?

いや 実は
たくさん
とらないんだ

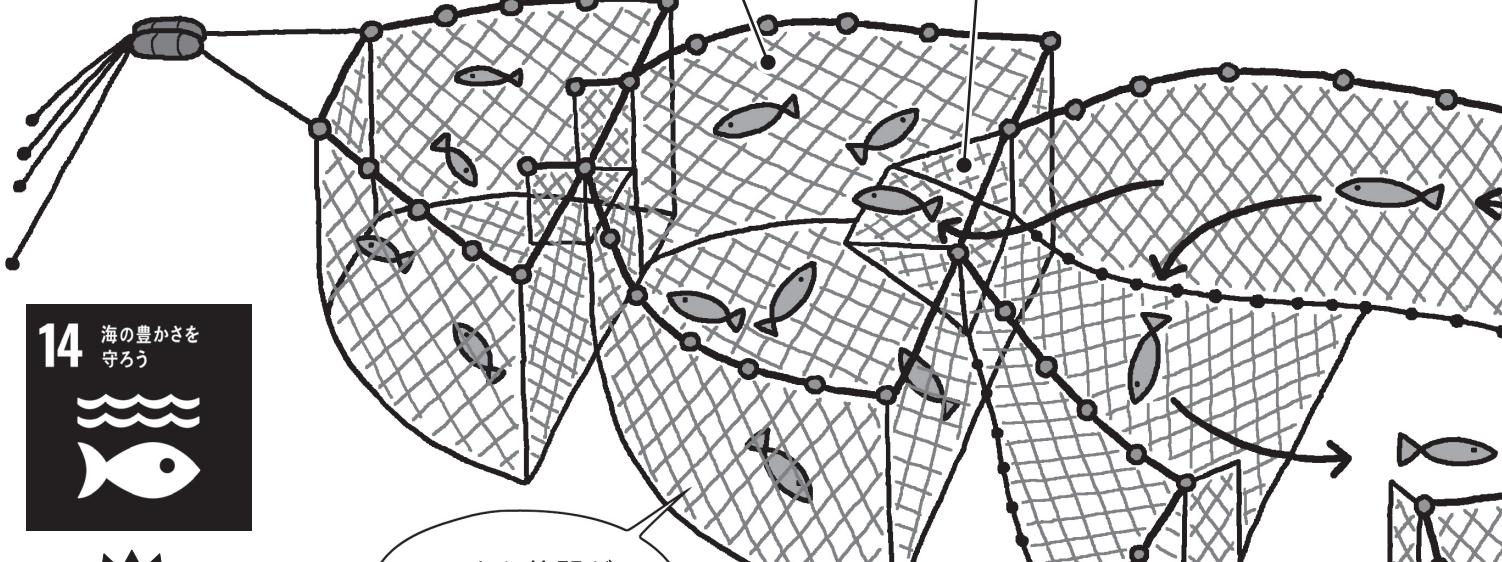
なんぞーー！?

なんぞーー！?

④身網

魚をとりあげる網

とるのは、この網にいる魚だけです



14 海の豊かさを守ろう



ココにも注目!

SDGs目標14「持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」の達成に役立つことが期待されています。

SDGs(持続可能な開発目標)とは?

貧困や格差、環境問題などの問題を解決し、2030年までにすべての人にとってよりよい世界をつくるために設定された世界共通の目標のこと

③のぼり網

運動場から身網につながる通路
だんだんせまくなっています
かんたんに出られない
しくみになっています

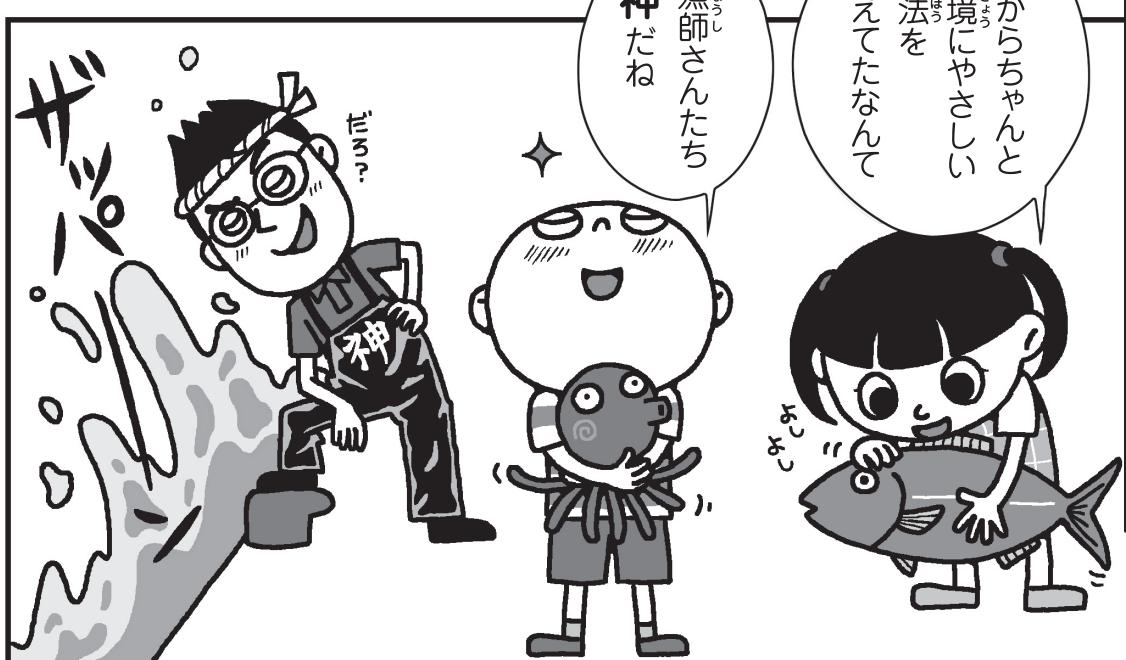
①垣網

魚を網に誘導する

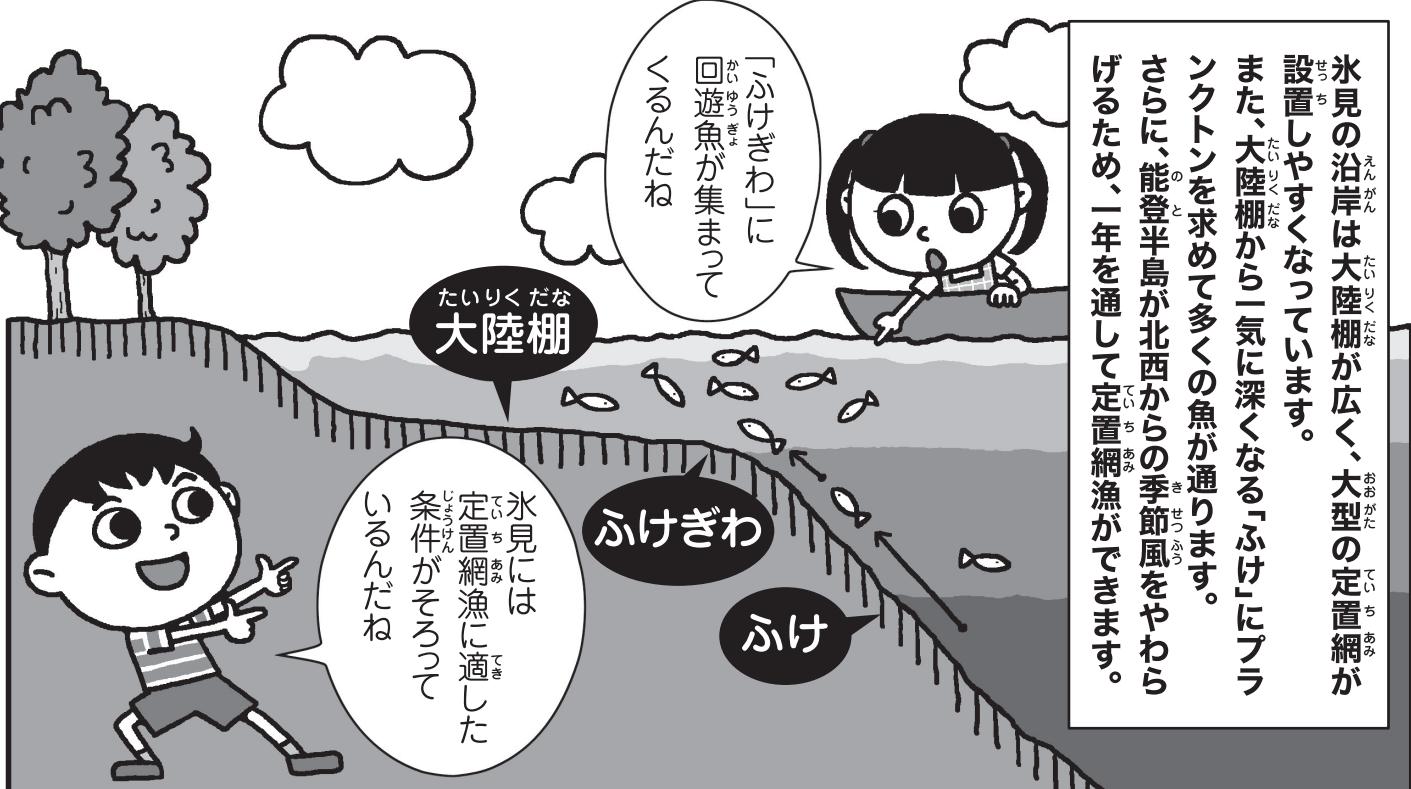
定置網は入り口が開いていて自由に入り出しができるので、とるのは網に入った魚の3割ほど。「どうすぎない」漁法は、水産資源の保護につながり、環境にやさしい持続可能な漁業として世界でも関心が高まっています。

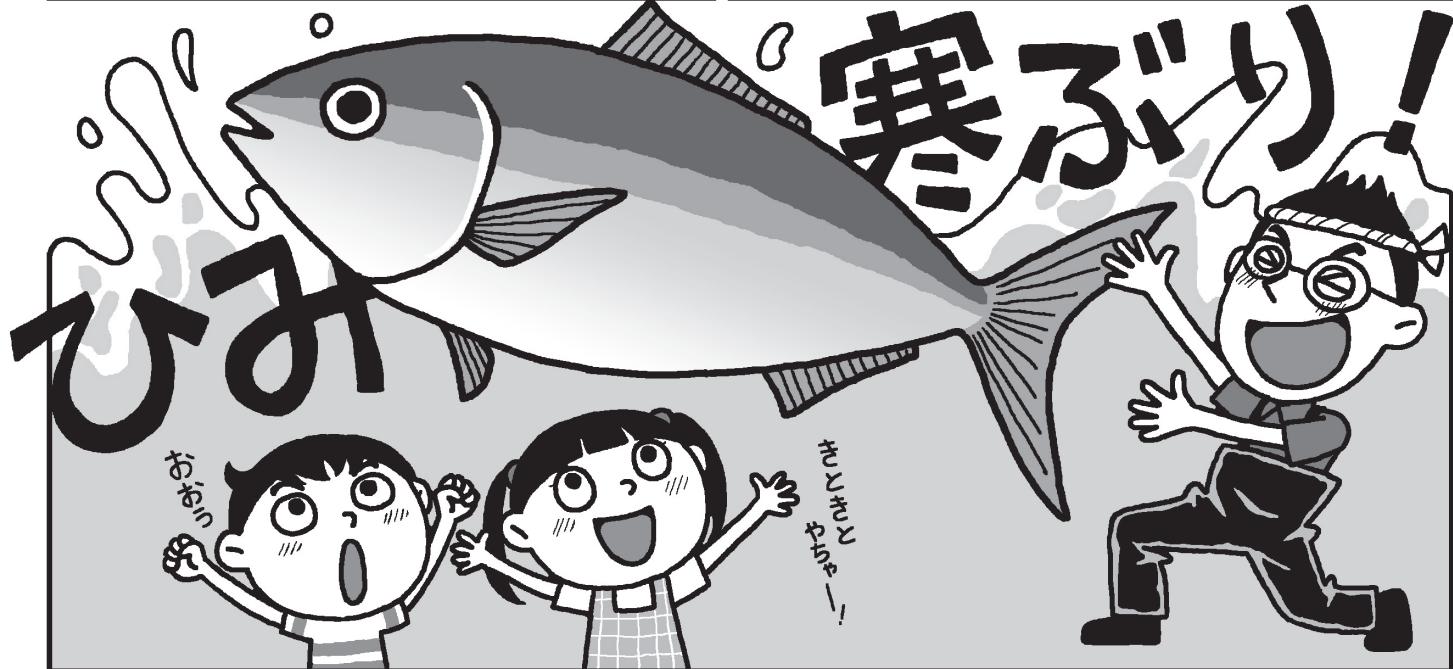
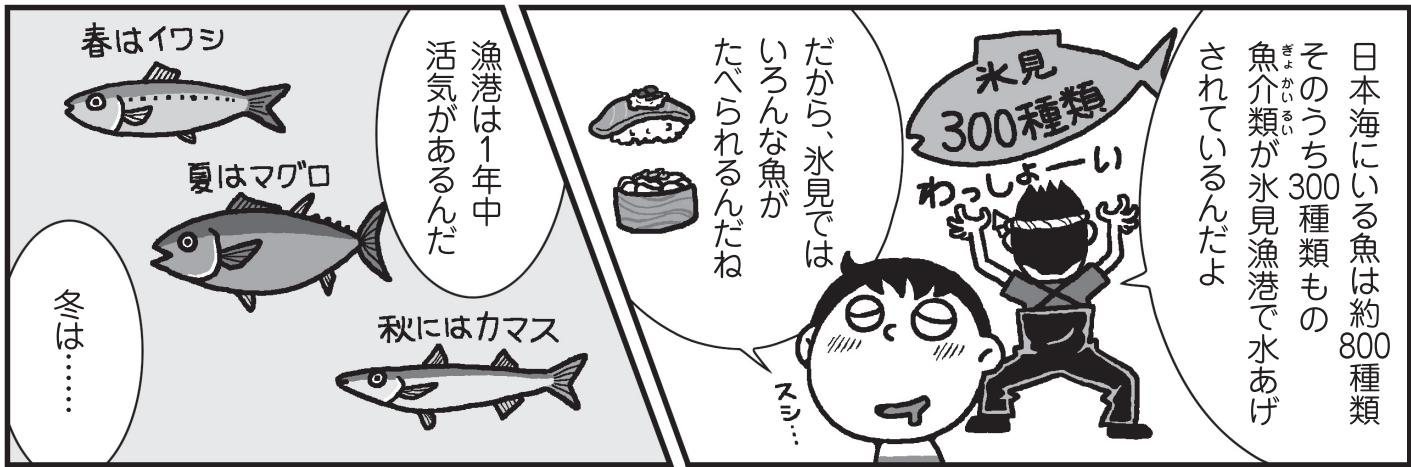
漁師さんたち
昔からちゃんと
環境にやさしい
漁法を

考えてたなんて



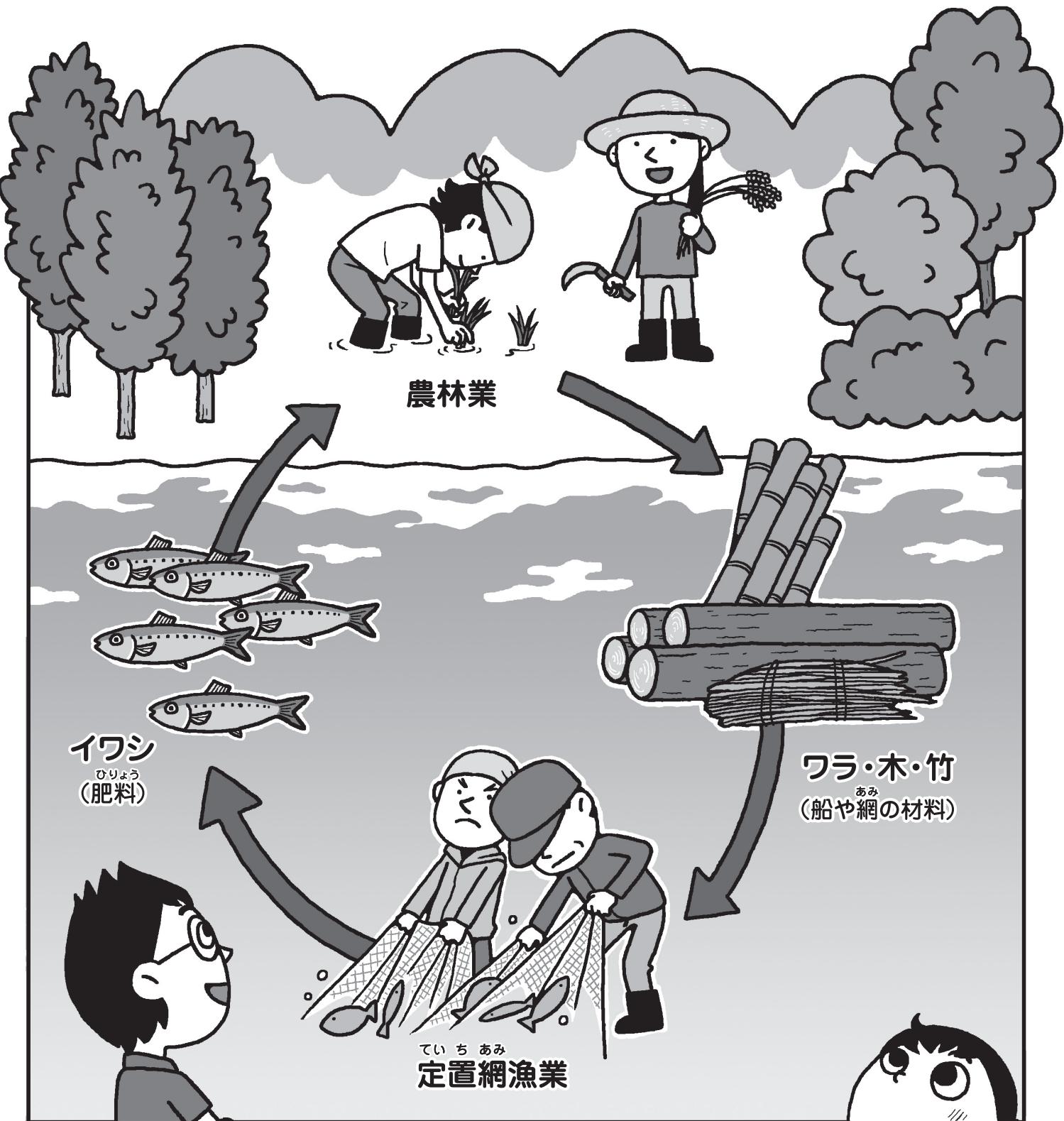
ココにも注目!







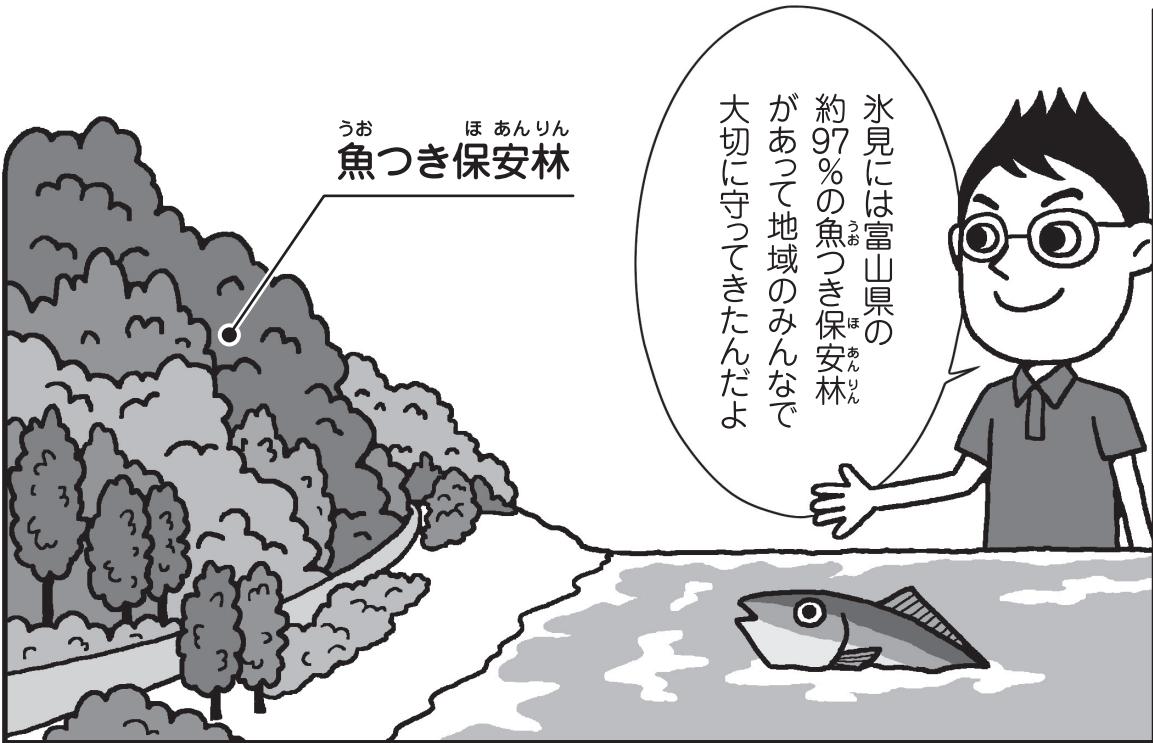
里山(農林業)と海(定置網漁業)のつながり



氷見の里山は、※魚つき保安林や山々、水田から、

魚たちの栄養やえさとなるブランクトンを多く含んだ水を海にもたらし、豊かな海を守っています。

※魚つき保安林には、この他にも土砂の流出を防いだり、海岸近くに影をつくることで、暗いところを好む魚を定置網に誘導する役割があります。



がんばるぞ!



い　さん　し　せつ 農業遺産が学べる施設に出かけてみよう

氷見市漁業文化交流センター



たいけんがたしせつ
氷見の魚と漁業をテーマにした体験型施設で、「天然のいけす」と呼ばれる富山湾の特徴や「越中式定置網」の仕組みなどについて紹介しています。本物の定置網や木造和船、漁具などの展示のほか、多彩な映像装置や展示装置により、氷見の魚のおいしい理由を楽しみながら学ぶことができます。

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週水曜日(祝日の場合は開館)、
祝日の翌平日、年末年始

入館料 無料

所在地 富山県氷見市中央町7-1

TEL 0766-74-8018



氷見市文化財センター



ぎょうう 「氷見及び周辺地域漁撈用具」として国の登録有形民俗文化財となっている和船や2分の1スケールで復元した定置網漁の網取り船ドブネなど、多数の和船のほか、農具や生活用具などの民具を収蔵展示しています。

入館料 無料

所在地 富山県氷見市中田645

TEL 0766-74-8231(氷見市立博物館)



氷見市立博物館



ていち　あみ　はってん　ぎょううぐ　あみもけい
氷見の定置網の発展の歴史を漁撈具や網模型などで紹介しています。この他にも市内の遺跡から出土した土器や移築した明治中期の農家などを展示しており、氷見の歴史について学ぶことができます。

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝・休日の場合は開館)、
祝・休日の翌平日、年末年始

入館料 一般(高校生以上):100円

小・中学生:50円(氷見市内の小・中学生は無料)

所在地 富山県氷見市本町4-9(氷見市教育文化センター内)

TEL 0766-74-8231



つぼいわさきぶりおおしきあみそうこ 坪岩崎鰐大敷網倉庫



けんぞうぶつ　ていちあみ
氷見の漁村文化を伝える建造物で、氷見の定置網の大型化・大規模化が進んでいく明治40年頃に建てられたと考えられており、網や浮きなど定置網漁の用具が収められていました。屋根の上には、ブリをかたどった飾瓦(雪割り瓦)が置かれています。

所在地 富山県氷見市中波(女良漁港内)

TEL 0766-74-8011(氷見市企画政策部地方創生推進課)

※開館日・開館時間はHPなどでご確認ください。



氷見の 定置網

日本農業遺産

日本農業遺産認定 氷見の持続可能な定置網漁業

定置網漁業は氷見の宝物

令和5年3月24日発行

発行／氷見農業遺産推進協議会

〒935-8686 富山県氷見市鞍川1060番地

氷見農業遺産推進協議会事務局

(氷見市企画政策部地方創生推進課内)

TEL:0766-74-8011 FAX:0766-74-0692



氷見農業遺産推進協議会HP

マンガ／シナリオ原案：氷見農業遺産推進協議会

シナリオ：高瀬 智江 作画：さくら たかこ

制作／株式会社チューエツ 高岡営業所

〒933-0874 富山県高岡市京田498番地

TEL:0766-23-7208